

私たちの町議会 りくべっ

No. 113

発行日・令和5年9月1日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

第20期 町議会スタート



(令和5年5月8日 第1回臨時会にて撮影)

令和5年5月8日の初議会で議会の構成が決まりました

議会の構成

議長 久保広幸
副議長 中村佳代子

総務常任委員会

委員長 濱田正志
副委員長 谷郁司
委員 中村佳代子

委員 渡辺三義
委員 藤哲男
委員 三輪隼平

産業常任委員会

委員長 工藤哲男
副委員長 谷郁司
委員 中村佳代子

委員 渡辺三義
委員 濱田正志
委員 三輪隼平

議会運営委員会

委員長 三輪隼平
副委員長 渡辺三義
委員 中村佳代子

委員 藤哲男
委員 濱田正志

十勝圏複合事務組合

十勝環境複合事務組合

とかち広域消防事務組合

議員 久保広幸

議長就任にあたって

陸別町議会議長

久保 広幸

3年余りにわたって猛威を奮いました新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束に向かいつつも、手放しでは安心できない状況にあるとともに、世界規模の政情不安等によつて物価の高騰が続いている中で、去る4月18日に陸別町議会議員選挙が告示されました。

しかしながら、この度の改選において欠員を生じる事態に至りましたことは、誠に残念なことと思っております。

その様な中ではありませんが、新たに新進気鋭のお二人の議員を迎えることができましたことは一縷の光明と受け止めております。

5月8日の初議会においては、定数8名に対して1名を欠く7人議会と

しての議会構成を行っておりますが、特に議会運営委員会には、早々ではありますがこの残念な事態を解消すべく、議員のなり手の多様性を高めるための環境調整等を諮問しております。

待った無しの状況にあります議会改革を取り進めますとともに、頂きました町民の皆さまからの負託に応えられますよう、皆さまのお力添えを頂きながら当町の発展に力を尽くしてまいります。

さて、国を挙げて喫緊の課題としております人口減少と脱炭素社会の実現につきましまして、少子化対策には大きな予算付けとなっておりますし、個々の自治体を取り組むカーボンニュートラル施策にも様々な交付金等が用意

されております。

財政運営を地方交付税や補助金に大きく依存せざるを得ない当町にとりまして、直面する物価高騰対策はもとより、老朽化の進むインフラ資産の維持・更新など、大変に厳しい行政判断が予測されますが、町理事者とも、適度の緊張関係の中で手を携え、身の丈に合わせ、持続可能なまちづくりを推進する議会運営に努めてまいります。

町民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、栄えある陸別町議会議長に選任を頂き感謝を申し上げます。就任の挨拶といたします。



第1回臨時会

5/8

5月8日に、改選後の初議会となる第1回臨時会が開催されました。

議員の投票により議長・副議長の選挙が行われ、議長に久保広幸議員、副議長に中村佳代子議員がそれぞれ当選しました。

常任委員の選任など、その他の議会の構成を決定し、専決処分承認4件、工事請負契約の締結1件、補正予算案1件、人事案件2件を可決し、閉会しました。

副町長の選任

5月8日で任期満了となる早坂政志氏の後任として、今村保広氏の選任に同意しました。

監査委員の選任

4月30日で任期満了となった中村佳代子氏の後任に、陸別町新町一区の渡辺三義氏を選任する案が提案され、同意しました。

議員の紹介

※議長議席番号を8番としており、1名欠員となりましたので議席番号7番は欠番になります。



はま だ まさ し
濱田正志
議席番号 1番
無所属 当選1回

陸別町議会議員に初めて
当選させて頂きました、新
人の濱田正志と申します。

私は、陸別町に帰って来
て12年の月日が経ちました。
その間、様々な経験を積
ませて頂き後輩も出来て指
導することの難しさも学び、
人として大きく成長させて
頂きました。今後私は学び
の場を与えて頂いた陸別に
対して何が出来るのだろうか
と考えるようになりました。
今後は町政に参加させて
頂き、町民の皆様と共に持
続可能な町「陸別」を目指
すために、様々な声を聴き
町づくりに努めてまいりま
すので、新人では御座いま
すが宜しくお願いいたしま
す。



み わ じゅん べい
三輪隼平
議席番号 2番
無所属 当選2回

「日本一寒い町」
この最強のフリーズ。陸
別町は今後もそれだけで、
これだけでいいのか。

陸別町は先人の尽力によ
り交流人口は多いはず。だ
からこそ、その先へ足を運
ばなくていいのだろうか。

人口は減少し続けてきた
が、この町には自慢できる
たくさんの魅力がある。そ
れを存分に活用し、企業誘
致等を通して町を活性化し、
未来につなげていきたい。

今、目の前にある住民サー
ビスがいつまでも良いもの
である為にも、町が稼ぐ。
更なる産業の発展を、陸別
町の特色づくりをもっと。

陸別町を、前に進めたい。



わた なべ みつ よし
渡辺三義
議席番号 3番
無所属 当選3回

生涯安心して暮らせる
町づくりを目指して

○住民の皆さんの声は町づ
くりの基本と考え、住民
参加の町づくりやSDG
sに向けての町づくりを
目指します。

○基幹産業に従事する皆さ
んの現場の声を行政に届
け、地域産業の保持と本
町が目指すゼロカーボン
シティ参加による町づく
りの取り組みについて頑
張って参ります。

○地域医療、福祉の充実に
向けて、住民誰もが安心
して暮らせる、優しい町
づくりの環境整備の促進
に努めて参ります。



く どう てつ お
工藤哲男
議席番号 4番
無所属 当選1回

りくへつこの
未来を守りたい！

厳しい環境にある畜産酪
農・農業を守ります。
①農家の巡回の徹底
②農作業のアウトソーシ
ングの推進

住民の意見を反映させる
議員活動を行います。
①町民各団体のコミュニケー
ションの重要性

町民減少への対策として、
後継者確保と町内企業活動
への提案と、町外からの移
住方策を検討します。
①後継者確保対策
②新規就農者確保対策

教育・医療・福祉・林業
の知識習得に努め、住みよ
い環境の提案を致します。



なかむらかよこ
中村佳代子
議席番号 5番
無所属 当選3回

労働人口確保を重点課題に

労働力不足は行政サービス、社会インフラの維持が困難な状況になりかねません。今まで以上に強化的な方法を考え、町民の安全な暮らしを維持できるように今期の課題として取り組んでいきます。

手が届く

福祉サービスの充実を

困った時病気の時などに利用できる買物支援サービス事業に取り組みます。たくましい子どもを育てる

教育環境の充実を

教育の地域格差をなくすべく少人数であるからこそできることを提案します。

※一人一人の声を大切に

『町民が主役の町づくり』を実践し、自分の町に誇りや愛着が持てるよう力を尽くしていきます。



たにゆうじ
谷 郁 司
議席番号 6番
日本共産党 当選6回

私は元京都府知事蜷川虎

三民主府政「憲法を暮らしの中に生かそう」を心情の基に町民の要望意見を町政に届ける者として、当町の学校給食の無料化は憲法第26条、すべての国民はひとしく教育を受ける権利を有し子女を普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は無償とする。学校給食は教育の一環であり当然であると思っている。

第9条国際平和を希求し

国際紛争を解決する手段として武力の行使は永久に放棄する。戦力を保持しない交戦権は認めない、これを堅持し履行させていく。外交と話し合い平和とは人間同士の命を奪い合うことではない。私は酪農業しながら日本共産党公認で、S54〜55期20年間つかせていただき、議員定数当初は18人でした。



くほひろゆき
久保 広 幸
議席番号 8番
無所属 当選3回

厳しいときこそ

支え合いを！

この度の改選に当たっては、誰もが安心して暮らせる、持続可能なまちづくりに取り組むことを掲げております。具体的には、

▼物価高騰下の生活維持を含め、国や北海道の施策

だけに止まらない高齢者等の支援に取り組みます

▼当町のまちづくりの方向

性は、酪農と林業を活かした再生可能エネルギーの供給地域として社会貢献して行くことが、まち

の持続可能性を高めることに繋がるものと考え、

生産基盤の維持・拡大に努めるとともに、カーボンクレジットによるまち

づくりに取り組みます

▼情報通信技術の急速な普及に伴い、高齢者等の買

い物や診療に活用した生活のサポートに努めます

まめ辞典

議会の会議録を

ご存知ですか？

この広報誌は約3ヶ月間の議会活動を要約したものです。それとは別に、本会議の全ての発言を記録した「会議録」も公開されています。

過去数年のものに限られますが、陸別町議会ホームページや陸別町公民館でどなたでも閲覧することができます。

一般質問は、ホームページから聴くことができます。



陸別町議会
ホームページ
のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>

6月定例会

陸別町議会 6月定例会は、6月22日から23日の2日間開かれました。今定例会では、工事請負契約の締結1件、農業委員会委員の任命10件、条例案5件、補正予算案5件、意見書案1件、発議案2件を可決し、閉会しました。

主な補正予算の内容

低所得世帯に給付金

●電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業
1440万円

Q この事業は、非課税世帯一世帯あたり3万円の給付金が支給されるが、

光熱費の高騰は町民皆さんが厳しい状況にあると思っている。上水道の基本料金の免除など、公平に支援を行っている町村もあるので、低所得者だけに限らず町民にも支援する考えはないか。
また、今後もこのような状況が続く場合は、町として何か対策をしていく考えはあるのか。

A 光熱費等の高騰対策として、水道料金の減免なども検討したが、町民にとって効果的で、町民全体に等しく恩恵があり、かつ消費拡大による町内経済効果が期待できる対策として年2回に分けてプレミアム

率40%の商品券発行事業を実施する。
なお、今後については、経済活動等を見極め判断していきたい。

人材確保や求人活動経費の一部を助成

●人材確保対策
支援事業補助金
300万円

Q 町内事業所の人材を確保するために、町内の事業所等が行う求人活動に要する経費の一部を助成することに理解できる。

しかし、補助金の対象経費に、外国人技能実習生の採用に関する経費は除くとあるが、既に当町の酪農家や北勝光生会が受け入れをしている特定技能外国人労働者に係る経費については、この補助の対象になるのか。

A 特定技能外国人労働者については、年数が限られているた

め、安定した労働力確保の観点から、補助対象とはしていない。
しかし、この人材確保対策支援事業は、今年度から新規事業として行うので、3年間から5年間の区切で特定技能外国人労働者として雇用される人もいれば、1年間で雇用が終了する人もいる。そのため、雇用に対する全体のバランスも考慮していかなければならないが、幅広く当町の人材確保に努めていきたいと思っていますので、検討させていただきます。



▶しらかば苑では外国人労働者を雇用

令和5年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億4,251万円	52億8,837万円	
特別会計	国保事業勘定	△448万円	3億5,224万円
	国保直診施設勘定	829万円	3億4,104万円
	簡易水道事業	1,259万円	1億8,938万円
	公共下水道事業	121万円	1億3,172万円
	後期高齢者医療	363万円	5,428万円

可決した意見書

●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業の充実・強化を求める意見書

一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

町長の公約

「おぐやまの5つの」と「を問う」

渡辺 三義 議員

問 当町は、平成30年に開町100年を迎え、

地域経済の発展と歴史的財産も過去から引き継がれ、現在は第6期陸別町総合計画に基づき、町づくりが進められてきている。

そのような状況下において、4月の町長選挙において公約として掲げた、「まちのなか再生プロジェクト

構想」とは、道の駅を中心
に街を活性化させ、町有地を有効活用させるとのことであるが、具体的にどのような構想を考えているのか。

町長 最近では北見方面から多くの人の出入りがあり、今後、小利別陸別間の高規格道路が完成することで、更に町への入込者が増えるものと思われる。特に道の駅を中心とした周辺整備については、課題も多

く簡単ではないが、関寛齋資料館、りくべつ鉄道、銀河の森天文台等を連携させた周辺整備を考えていきたい。

また、修学旅行や宿泊学習等も含めた観光誘致に取り組む、身の丈に合った整備を考えている。ただし、このような構想は、自分一人では実現することは出来

ないので、町民等の意見を聞きながら、一歩ずつ前に進めて行きたいと思っています。

問 町長は選挙の公約として、「平等でやさしい笑顔の町」をスローガンとし、更に5つの公約を掲げている。スタートして間もないが、優先してどのようなことに取り組もうとしているのか。

町長 自らが足を運び、町民との会話を通しながら様々な声を拾っていくことや、役場のワンチームを目指しながら、自らが新規就農、移住定住、特産品等のPRに出向き、陸別町のトップセールスとして進めていきたい。

また、バイオガスや太陽光発電に対する、再生可能エネルギー推進基金を設立し、ゼロカーボンシティの実現に向けて進めるとともに、目安箱（御意見箱）を役場と道の駅に設置したので、いろいろな町民の声を

頂きながら、町づくりに役立てていきたいと考えている。

問 地方財政は、国の経済行動と密接不可分の

関係にあり、どこの市町村においても累積債務の状況にあり、厳しい財政環境にあるが、当町の財政健全化に向けては、どのように考えているのか。

町長 当町においては、実質単年度収支は赤字であり、基金を取り崩さなければ予算が組めない状況にある。そつした中において、財政健全化を目指すには、

歳入の増加と歳出の削減が必要であり、限られた予算の中で身の丈に合った財政運営を行っていきたい。しかし、必要と判断した場合、支出を惜しまずに取りかかり、今すぐやる事業と長期的にやる事業とのバランスを取りながら進めていきたいと思っ



道の駅を中心に町を活性化



ここが聞きたい



陸別町の特徴づくりをもっと

三輪隼平 議員

問 コロナ禍においてキャンプ等がトレンドにもなり、自治体とアウトドアメーカーがタッグを組む例も見られる。モンベルと包括連携協定を結ぶ小清水町の事例では、民間企業との連携が自治体の大きな発信力となり得ると感じられる。よって、当町においても民間企業の誘致を行うことで、情報発信の点から、町の更なる産業振興につなげる考えはないか。

町長 企業が持つ強みとして、情報発信というメリットは理解するところである。陸別町も銀河の森、りくべつ鉄道等の観光資源があり、日本一の寒さを生かした企業誘致、企業との連携が非常に大事なことであると思う。陸別町の最大の誘致企業である日産自動車との包括連携は結んでいないが、日頃から様々な形

で連携し支援していただいている。小さな町だから、どのような連携の形があるかということにはなるが、他市町村との連携も重要であると考えている。その際、競争するのではなく、お互いの町の強みと弱みを理解し合い、陸別町ができることを示しながら連携していきたい。

問 ふるさと納税への取り組みは、陸別町を好きになってくれる方が増えるとともに、より良い町づくりと、地元産品開発との両輪であると思われる。それにより、企業と町の限定商品が生まれれば、それが大きな付加価値となり、ふるさと納税の促進につながるものと思う。また、道の駅の機能強化を行い、連携企業のシヨップやブースは検討できないか。

企業とのコラボ商品については、お互いの価値観を合わせたり、その商品が陸別町の特徴とマッチした形であったり、商品化に至るまでの物語が重要であると思う。

道の駅の機能強化については、ソフト面のことになるが、企業のブースをつくり、相乗効果を出していくのも一つであると思うので



▲望遠鏡貸出(返礼品)

町長 平成29年度から令和4年度までにふるさと納税額は、2・6倍になっているので、伸びしろのある事業とされている。新たな返礼品として、食品以外の返礼品を充実させたい。例えば、鉄道や天文台の貸切等、自分達の生活の中で当たり前だと思っていることも返礼品となり得るので、発想を変えていくことも重要である。

色んな意見を参考にしながら、道の駅とふるさと納税の在り方について考えていきたい。

問 町長の思うまちづくりのイメージを職員間で共有し、職員からのアイデアも取り入れながら、陸別町の未来を見据えた長期的事業について、次期総合戦略に盛り込んでいく考えはあるか。

町長 次期総合戦略の策定にあたっては、攻める部分と見直す部分とのメリハリのあるものにしなければならぬと思う。様々なアンテナを広げ、策定にあたっては、職員、町民、議会からの意見を聞き、具体的な部分については精査をしながら進めていきたい。また、企業誘致に関しては、町と企業の思いがマッチングする必要があり、大変難しいがチャレンジしていかねばならないと思っている。

中学校の不登校

長期欠席生徒への対応は

濱田正志 議員

問 現在、中学3年生17人中5人の生徒が不登校、長期欠席者の状態にある。そうした当該生徒への対応策として、カウンセリ

ング等を行っているが、効果は出ているのか。また、文科省が公表している不登校等に係るデータとして、1学年ごとの平均は4%であるが、陸中3年生は30%近い数値であり、全国平均よりもはるかに高い値となっている。こうした事態の対応として、生徒へのヒアリングを行うことは理解するが、教員の指導方法等の確認等を行っているのか。

また、教育長の人事権の範囲としては、どの程度まで学校の人事に関わることは可能なのか。

答 現在カウンセラーを設置しているが、有資格者が足りておらず、常駐が出来ない状態にある。昨年より基本月1回の来町回数を増やしているが、不登校生徒の原因も様々であり、一概に効果の有り無しがわかりにくい状況である。しかし、確認して改善して行かなければならないと思っている。

教育委員会が教員に直接指導をすることは、学校長の権限を通り超えて行うことになるため、学校長からの報告を基に保護者、生徒への対応が出来ているかの判断を行っている。

人事権については、当町に赴任する先生は、十勝教育局との協議を行いながら決定している。先生の赴任に関する人事権については教育長にあるが、それ以外の人事権については、

学校長となる。

目安箱の

意見はどうする

問 目安箱に投函された意見はどの様に扱うか。最初に町長が投函された全てを確認することであるが、頂いた意見を役場内全体で情報共有する考えはないか。

投函された意見に対しては、一問一答形式までとはいかないが、町民に回答することが大切であると思われる。また、投函方法として、紙ベースにしたことで誰もが投函できるようにしたことは理解するが、行政のDX化を推進するのであれば、オンラインシステム等による意見も受けるようにすべきではないか。

町長 頂いた意見は全て私を確認し、必要に応じて各課へ振り分けることにしている。役場全体での共有は必要であると考えている。

一問一答形式の様な回答をすることは出来ないが、必要に応じて広報誌等を利用して報告したいと考えている。また、投函方法を紙としたのは、書ける人書けない人がいるとかの発想ではなく、まずここから始めて見ようとの考えから行った。行政のオンライン等のDX化については、今後検討していきたい。



▲ 役場正面玄関横に設置された目安箱 (24時間対応)

公営住宅の空き家政策を問う

谷 郁 司 議員

問 全町の回覧において、公営住宅の募集が継続的に出ている。6月の回覧で35戸の募集があったが、空き家状態は継続的にあるのか。また、公営住宅に係る診断調査等を行ったことはあるか。

町長 選挙期間中に町中を歩くことがあり、公営住宅がこんなに空いていることを改めて認識した。5月1日の初登庁の時に、建設課長にこれからの公営住宅のあり方について指示したところである。特に、公営住宅の診断調査は行ってはいないが、この状態を解消することを今後考えていきたい。

問 公営住宅入居募集の際は、ペット飼育禁止とあるが、公営住宅でペットを飼育するためのルール

を事前に決めておくことで、入居が可能となるのではないか。ただし、全部の公営住宅を許可するのではなく、例えば、上斗満地区の公営住宅を指定し、旧上斗学校跡地にドッグランを整備してはどうか。

町長 公営住宅でペット飼育のルールを作っても飼うのは難しいと思われる。十勝管内の他の自治体でも許可しているところはない。しかし、他の町でやっていないからやらないということではなく、何が出来るかについて一緒に考えていきたい。

問 公営住宅の家賃は、収入が15万8千円以上だと、割増家賃になることは公営住宅法で決められている。しかし、当

町の学校給食費無償化と同じように、当町が独自に割増家賃を免除することはできないのか。

町長 公営住宅のあり方については、全体の中で考えて行かなければならない問題であると思っている。この時点での割増家賃の減免は考えていない。

問 国からの縛りが無くなった、空き家の公営

住宅を町がリフォームして活用する考えはないか。また、太陽光発電、蓄電池の完備、園芸、菜園地付（リース対応）とすることで、都会からの移住者も増えるのではないか。

町長 公営住宅だけに特化した移住政策を行う考えは持っていない。もっと違う形での移住政策を取り入れていきたいと思っているので、貴重な意見として伺っておく。

問 公営住宅に空きがあれば、その部分の家賃収入が入ってこないことに問題がある。よって、公営住宅の減免等を行うことで、空き家問題の解消につながることも、町民ニーズに応えた行政を行うべきではないか。

町長 公営住宅の空き家問題については、町民からの指摘は認識している。で、今後は、様々な意見を聞きながら、前に進めていきたいと思っている。



空室が目立つ新町2区の公営住宅

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第1回臨時会（5/8）	
● 専決処分の承認を求めることについて（令和4年度一般会計補正予算第9号）	承認
● 専決処分の承認を求めることについて （令和4年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算第2号）	承認
● 専決処分の承認を求めることについて （令和4年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算第5号）	承認
● 工事請負契約の締結について	可決
6月定例会（6/22～6/23）	
● 工事請負契約の締結について	可決
● 農業委員会委員の任命について（10件）	同意
● 町税条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町へき地保育所条例の一部を改正する条例	可決

農業委員会 委員の任命

町から提案のあった次の10名の任命に同意しました。
（敬称略、議案番号順）

上斗満	平野祥子
上登良利	佐藤直人
下勲柾別	石井達也
作集	原田利則
中斗満第1	前田和典
元町	工藤哲男
共栄第1	川口助夫
林内	上杉昌弘
苦務	羽藤邦壽
薫別	大西靖浩

任期は令和5年7月20日から3年間です。

議会の動き

【5月】
8日 第1回臨時会
議員協議会
総務常任委員会
産業常任委員会
議会運営委員会

【6月】

20日 議会運営委員会
総務常任委員会
産業常任委員会
22日 6月定例会
議員協議会

23日 6月定例会
議会運営委員会
（広報編集会議）

【7月】

4日 議員研修会（札幌市）
6日 議員協議会
25日 新任議員研修会
（釧路市）

【8月】

3日 議会運営委員会
（広報編集会議）
17日 議会広報研修会
（札幌市）

次回の定例会は9月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。

